

年 報

令和3年版

福井県労働委員会

目 次

第1章 労働争議の調整

第1節 概況	1
第2節 争議行為予告一覧	3
第3節 事件の概要	4

第2章 個別的労使紛争のあっせん

第1節 概況	5
第2節 取扱事件一覧	6
第3節 事件の概要	6
第4節 個別的労使紛争に係る労働相談	8

第3章 不当労働行為の審査

第1節 概況	1 1
第2節 取扱事件一覧	1 2
第3節 事件の概要	1 3

第4章 労働組合の資格審査

第1節 概況	1 5
第2節 資格審査状況一覧	1 5

第5章 地方公営企業等における非組合員の範囲の認定

第1節 概況	1 7
--------	-----

【参考資料】

1 年次別調整事件数一覧表	1 9
2 年次別個別あっせん事件数一覧表	2 1
3 年次別審査事件数一覧表	2 2
4 歴代委員名簿	2 4

第 1 章

労働争議の調整

第1章 労働争議の調整

第1節 概況

令和3年中に新規に受け付けた調整事件は1件であった。

第1表 申請受付状況

年次	区分	受付総件数	左の内訳		
			あつせん	調停	仲裁
平成28年		1	1		
平成29年		0			
平成30年		0			
平成31(令和元)年		0			
2年		0			
3年		1	1		

第2表 月別申請状況

年次	平成31(令和元)年	令和2年	令和3年
1月			
2月			
3月			
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			1
10月			
11月			
12月			
計	0	0	1

第3表 業種別申請状況

業種	平成31(令和元)年	令和2年	令和3年
農林漁業			
運輸業			1
卸売・小売業			
金融・保険業			
サービス業			
計	0	0	1

第4表 従業員規模別申請状況

従業員	平成31(令和元)年	令和2年	令和3年
10人未満			
10人～49人			
50人～99人			
100人～299人			
300人～499人			
500人以上			1
計	0	0	1

第5表 調整事項別状況

調整事項		年次		
		平成31(令和元)年	令和2年	令和3年
団体交渉				
経営 または 人事	人員配置			
	配置転換			
	解雇			
	その他			
賃金等	一時金			
	退職一時金・年金			
	解雇手当			
	その他			1
労働条件等				
その他の他				
計		0	0	1

(注) 申請事項が2項目以上の場合、調整事項数は申請件数と一致しない。

第6表 申請者別状況

申請者		年次		
		平成31(令和元)年	令和2年	令和3年
一方(労または使)				1
双方				
計		0	0	1

第7表 終結所要回数状況

所要回数		年次		
		平成31(令和元)年	令和2年	令和3年
0回				
1回				1
2回				
3回				
4回以上				
計				1
平均(回数)		—	—	1

第8表 終結所要日数状況

所要日数		年次		
		平成31(令和元)年	令和2年	令和3年
10日以下				
11日～30日				
31日～50日				
51日～100日				1
101日以上				
計				1
平均(日数)		—	—	1

第9表 処理状況

区分	年次	平成31(令和元)年		令和2年		令和3年	
		繰越分	新規申請分	繰越分	新規申請分	繰越分	新規申請分
解決	案受諾						
	協定締結						
	自主解決						
打ち切り							1
取下げ							
翌年へ繰越							
計		0		0		1	

第2節 争議行為予告一覧

(中労委受理分)

通 知 者	要求事項	受付月日	争議行為予告月日	受付労委	関係都道府県
国鉄労働組合	賃金引上等	2月12日	2月25日以降	中 労 委	46 都道府県
全日本建設交通一般労働組合全国鉄道本部	賃金改善等	2月22日	3月11日以降	中 労 委	46 都道府県
全日本地域医療機能推進機構病院労働組合	春闘要求	2月24日	3月1日以降	中 労 委	24 都道府県
全国電力関連産業労働組合総連合	春闘要求等	3月1日	3月12日以降	中 労 委	全 国
エヌ・ティ・ティ労働組合	賃金改善等	3月1日	3月15日以降	中 労 委	全 国
全日本港湾労働組合	賃金引上等	3月1日	3月12日以降	中 労 委	39 都道府県
全日本運輸産業労働組合連合会	賃金引上等	3月4日	3月19日以降	中 労 委	全 国
日本私鉄労働組合総連合会	賃金、臨時給、産業別賃金引上等	3月8日	3月19日以降	中 労 委	全 国
全日本港湾労働組合日本海地方本部	夏季一時金等	6月4日	6月29日以降	新潟県労委	6 府 県
全国港湾労働組合連合会	労使協定違反及び産別諸協定の履行等	7月28日	8月8日以降	中 労 委	39 都道府県
全日本地域医療機能推進機構病院労働組合	秋闘要求等	9月10日	9月29日以降	中 労 委	24 都道府県
全日本運輸産業労働組合連合会	年末一時金闘争等	10月29日	11月11日以降	中 労 委	全 国
全日本国立医療労働組合	賃金・労働条件改善要求	11月5日	11月25日以降	中 労 委	全 国
日本私鉄労働組合総連合会	秋季年末闘争	11月9日	11月23日以降	中 労 委	全 国
全日本港湾労働組合日本海地方本部	冬期一時金要求等	11月10日	11月25日以降	新潟県労委	6 都道府県

第3節 事件の概要

R3-1 賃金是正争議あっせん事件

令和3年 9月 3日 申請

令和3年10月28日 打切り

〔申請者〕
A労働組合

〔被申請者〕
X株式会社

〔あっせん事項〕
・給与是正の撤回

(1) あっせん員

(公) 小池委員、稲田委員 (労) 林委員 (使) 田村委員

(2) 主張の要点

(組 合)

- ・運転現場手当は車両管理費であると説明を受けており、現実に入社以来ずっと運転現場手当と時間外手当は別個に支給されてきた。それを突然一方的に変更することは認められない。是正の撤回を要求する。
- ・是正に向けて、激変緩和のための経過措置等を受け入れる余地はあるが、あくまでも会社が今回の賃金是正を一旦撤回し、協議の場を設けることが前提。

(使用者)

- ・運転現場手当は時間外手当の性格を有するものであるにもかかわらず、今回の申請者側の組合員の所属する部署では、時間外手当を別個に支給していた。しかも実残業時間を大きく超える残業時間に対して時間外手当が支払われていた場合もある。
- ・過去に遡及して過誤払いを請求することはしないが、今後は賃金規程を正しく適用し、運転現場手当についてはみなし残業代として支給し、実際の時間外労働に見合った差額支給をするという取扱いに統一していきたい。
- ・今回の賃金是正について譲歩の余地はない。

(3) 申請までの経過

組合は賃金是正の撤回等を求めて団体交渉したが、これ以上交渉を継続しても歩み寄ることは困難と判断しあっせんで申請した。

(4) あっせんの経過および結果

両者の主張の隔たりが大きく、解決が見込めないため打切となった。

(継続日数 56日、あっせん回数 1回)

第 2 章

個別的労使紛争のあっせん

第2章 個別的労使紛争のあっせん

第1節 概況

令和3年中に新規に受け付けたあっせん申出件数は4件であった。

第1表 申出受付状況

年次	区分	受付件数			処理状況	
		前年繰越	本年新規	計	本年終結	次年繰越
平成28年			1	1	1	
平成29年			5	5	5	
平成30年			2	2	2	
平成31(令和元)年			3	3	2	1
令和2年		1	4	5	4	1
令和3年		1	4	5	3	2

第2表 月別申出状況(申出者別)

月	申出者			計
	労働者	使用者	双方	
1月				
2月	1			1
3月				
4月				
5月	1			1
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月	2			2
計	4			4

第3表 申出事項別状況

	件数
経営又は人事	1
賃金等	3
労働条件等	2
職場の人間関係	2
その他	1
計	9

(注) 申出事項が2項目以上の場合、申出事項数は申出件数と一致しない。

経営又は人事：解雇、退職強要、配置転換・出向・転籍、復職、懲戒処分、退職、再雇用等
賃金等：賃金未払、賃金減額、一時金、退職一時金、解雇手当、休業手当、諸手当、年金等
労働条件等：労働契約、労働時間、休日・休暇、時間外労働、福利厚生制度、社会保険、労働保険等
職場の人間関係：セクハラ、パワハラ・嫌がらせ
その他：その他

第4表 処理状況

	件数
解決	
打切り	2
取下げ	1
不開始	
翌年繰越	2
計	5

第2節 取扱事件一覧

年	番号	事件名	業種	申出日	申出区分	終結日	処理日数	終結状況	あっせん員		
									公益	労働者	使用者
2	4	賃金等請求事件	サービス業	2.12.14	労	3.1.8	26	打切り	—	—	—
3	1	返還金等請求事件	製造業	3.2.2	労	3.2.22	21	取下げ	—	—	—
3	2	賃金等請求事件	小売業	3.5.28	労	3.6.4	8	打切り	—	—	—
3	3	退職確認等要求事件	小売業	3.12.17	労	—	—	翌年繰越	—	—	—
3	4	損害賠償等請求事件	製造業	3.12.20	労	—	—	翌年繰越	—	—	—

(注) 処理日数は申出日から終結日までの日数である。

平均処理日数 18.3日

第3節 事件の概要

令和2年(個)第4号 賃金等請求事件

申出内容 休業手当と残業代の未払分の支払いを求める。

終結内容 被申出者があっせんに応じないため、打切りとした。

令和3年（個）第1号 返還金等請求事件

申出内容 支払った金型修理代の半分程度の返還を求める。

終結内容 申出者が申出を取下げた。

令和3年（個）第2号 賃金等請求事件

申出内容 未払い分の賃金と有給休暇分の賃金の支払いを求める。

終結内容 被申出者があっせんに応じないため、打切りとした。

令和3年（個）第3号 退職確認等要求事件

申出内容 退職日の修正とパワハラによる精神的、身体的苦痛に対する慰謝料を求める。

終結内容 翌年に繰越した。

令和3年（個）第4号 損害賠償等請求事件

申出内容 年次休暇に相当する1か月分の賃金の支払い、パワハラによる精神的、身体的苦痛に対する慰謝料、退職金の算定の誤りの是正と差額分の支払い、不当な賃金減額分の支払いを求める。

終結内容 翌年に繰越した。

第4節 個別的労使紛争に係る労働相談

1 労働相談の状況

(1) 概況

令和3年に受け付けた労働相談は140件（「職場のトラブル解決・休日労働相談会」、「定例夜間労働相談会」での相談を含む）で、うち134件が労働者からの相談であった。

区分 年次	件数				内容					
	労働者	使用者	その他	計	経営 または 人事	賃金等	労働 条件等	職場の 人間 関係	その他	計
平成27年	164	6	0	170	38	42	55	29	39	203
平成28年	138	5	0	143	45	29	39	38	26	177
平成29年	105	8	0	113	29	29	36	42	9	145
平成30年	98	8	0	106	37	20	44	27	15	143
平成31 (令和元)年	135	8	2	145	49	31	57	47	27	211
令和2年	93	15	2	110	39	27	16	31	29	142
令和3年	134	6	0	140	49	45	34	42	30	200

(注) 相談内容が2項目以上の場合、相談件数と一致しない。

2 「職場のトラブル解決・休日労働相談会」

(1) 概況

職場における労使関係の諸問題に関する相談を受け付け、適切な助言・情報提供等を行い、あつせん制度の利用促進を図るとともに、当該制度を広く県民にアピールすることを目的として、労働相談会を実施した。相談件数は18件であった。

開催日	件数				内容					
	労働者	使用者	その他	計	経営また は人事	賃金等	労働 条件等	職場の 人間関係	その他	計
3. 3. 21 (福井)	4	0	0	4	2	2	1	2	0	7
3. 3. 28 (嶺南)	1	0	0	1	0	1	1	0	0	2
3. 7. 18 (福井)	3	0	0	3	0	1	0	0	2	3
3. 10. 3 (福井)	6	0	0	6	2	2	0	4	0	8
3.10. 17 (丹南)	4	0	0	4	1	1	0	3	0	5
計	18	0	0	18	5	7	2	9	2	25

(注) 相談内容が2項目以上の場合、相談件数と一致しない。

(2) 日程等

①第1回 (福井会場)

- ・ 日 時 令和3年3月21日(日) 9時00分～11時00分
- ・ 場 所 AOSSA (アオッサ) (福井市)
- ・ 相談員 公益委員……井上、清水泰幸
労働者委員…林 使用者委員…中村

②第2回 (嶺南会場)

- ・ 日 時 令和3年3月28日(日) 13時40分～15時00分
- ・ 場 所 敦賀市生涯学習センター (敦賀市)
- ・ 相談員 公益委員……川村
使用者委員…田村

③第3回 (福井会場)

- ・ 日 時 令和3年7月18日(日) 9時00分～11時00分
- ・ 場 所 AOSSA (アオッサ) (福井市)
- ・ 相談員 公益委員……川村、清水泰幸
労働者委員…林 使用者委員…坂川

④第4回 (福井会場)

- ・ 日 時 令和3年10月3日(日) 9時00分～12時00分
- ・ 場 所 AOSSA (アオッサ) (福井市)
- ・ 相談員 公益委員……川村、稲田
労働者委員…谷澤 使用者委員…清水則明

⑤第5回 (丹南会場)

- ・ 日 時 令和3年10月17日(日) 13時30分～16時30分
- ・ 場 所 市民プラザたけふ (越前市)
- ・ 相談員 公益委員……井上、小池
労働者委員…寺島 使用者委員…中村

3 「夜間労働相談会」

(1) 概況

相談者の利便性を考慮し、原則月1回福井市公民館にて委員による夜間労働相談会(予約制)を実施した。相談件数は7件であった。

開催日	件 数				内 容					
	労働者	使用者	その他	計	経営または人事	賃金等	労働条件等	職場の人間関係	その他	計
3.2.16(火) 【相談員】 ・小池委員 ・橋岡委員	1	0	0	1	1	1	0	0	0	2
3.3.23(火) 【相談員】 ・清水泰幸委員 ・寺島委員	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1
開催日	件 数				内 容					

	労働者	使用者	その他	計	経営または人事	賃金等	労働条件等	職場の人間関係	その他	計
3.5.25 (火) 【相談員】 ・川村代理 ・清水則明委員	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2
3.7.27 (火) 【相談員】 ・清水泰幸委員 ・山笠委員	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
3.9.28 (火) 【相談員】 ・井上会長 ・田村委員	2	0	0	2	0	1	2	0	0	3
3.11.16 (火) 【相談員】 ・稲田委員 ・中村委員	1	0	0	1	0	1	4	0	0	5

(注) 相談内容が2項目以上の場合、相談件数と一致しない。

第 3 章

不当労働行為の審査

第3章 不当労働行為の審査

第1節 概況

(1) 取扱件数の概要

令和3年中に新規に受け付けた不当労働行為救済申立事件は1件であった。
 なお、最近の不当労働行為救済申立事件の取扱状況は、次表のとおりである。

状 況		24年～27年	28年	29年	30年～ 平成31(令和元)年	2年	3年		
係 属 状 況	前年からの繰越	0	0	1	0	0	0		
	新規申立	0	1	0	0	0	1		
	計	0	1	1	0	0	1		
	新規申立	申立人	組 合	1					
			個 人					1	
			組合・個人						
		該 当 号	1						
			2		1				
			3						
			4						
			1・2						
			1・3						1
			1・4						
			2・3						
2・4									
1・2・3									
1・2・4									
終 結 状 況	取 下 和 解	和解以外の取下							
		和 解	関 与		1				
			無 関 与						
	計			1					
	移 送								
	命 令 ・ 決 定	全 部 救 済							
		一 部 救 済							
		棄 却							
		却 下							
		計							
終 結 計			1						
次 年 へ 繰 越	0	1	0	0	0	1			

(2) 審査期間の目標達成状況

①審査の目標期間

福井県労働委員会では、審査期間の目標を1年と定めている。

②所要日数

年 区分	24年～28年	29年	30年～ 平成31(令和元)年	2年	3年
100日未満					
100～299日		1			
300～499日					
500～699日					
700～999日					
1,000日以上					

第2節 取扱事件一覧

事件 区分	業種	従業員 (組合員) (人)	求める救済の内容	7条 号別 区分	申立年月日	終結状況 終結年月日
令和 3年 (不) 第1号	廃棄物 処理業	77	会社解散の撤回 原職復帰 バックペイ 文書交付	1.3	R3.9.24	係属中

(注) 従業員、組合員数は申立時の人数である。

第3節 審査の概要

救済申立ての内容、審査経過等は次のとおりである。

令和3年（不）第1号 不当労働行為救済申立事件

(1) 当事者等

申立人 個人申立人2名

被申立人 X株式会社（廃棄物処理業）

公益委員 井上会長、川村代理、稲田委員、清水泰幸委員、小池委員

参与委員 （労）寺島委員、橋岡委員、（使）清水則明委員、中村委員

(2) 申立ての概要と請求する救済内容

・会社解散の撤回、原職復帰、バックペイおよび文書交付を求める。

(3) 答弁書の概要

申立人の請求をいずれも棄却するとの命令を求める。

(4) 審査の経過

令和3年9月24日の申立て後、1回の調査を行い、翌年に持ち越した。

令和3年	9月24日（金）	不当労働行為救済申立
	9月28日（火）	第542回公益委員会議 ・審査開始の決定
	11月30日（火）	第1回調査

第 4 章

労働組合の資格審査

第4章 労働組合の資格審査

第1節 概況

令和2年中の資格審査の申請は、労働者委員候補者推薦に係るものが1件あり、適合と決定した。

第2節 資格審査状況一覧

労働組合名	組合員数	目的	申請年月日	決定年月日	決定状況
アイシン・エイ・ダブリュ工業労働組合	2,869名	委員推薦	3.9.16	3.9.28	適合

※ 組合員数は、申請時現在

第 5 章

地方公営企業等における 非組合員の範囲の認定

第5章 地方公営企業等における非組合員の範囲の認定

第1節 概況

令和3年中の地方公営企業等における非組合員の範囲の認定はなかった。

参考資料

- 1 年次別調整事件数一覧表
- 2 年次別個別あっせん事件数一覧表
- 3 年次別審査事件数一覧表
- 4 歴代委員名簿

1 年次別調整事件数一覧表

年	取扱件数			申請状況			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申請	計	あっせん	調停	仲裁	解決	不調	取下	打切	移行	
22年		5	5	5			5					
23年		15	15	13	2		13		1	1		
24年		17	17	14	3		15		2			
25年		21	21	20	1		19			1	1	
26年		11	11	10	1		8		1	2		
27年		18	18	18			12	1	4	1		
28年		14	14	14			6	2	6			
29年		13	13	13			9		4			
30年		18	18	18			12	2	4			
31年		9	9	8	1		9					
32年		26	26	25	1		10		13	2		1
33年	1	35	36	33	2		20		13	2		1
34年	1	55	56	54	1		37		18			1
35年	1	40	41	40			20		16	4		1
36年	1	34	35	34			25		8	2		
37年		30	30	28	2		27		2	1		
38年		46	46	45	1		42		1	2		1
39年	1	24	25	24			20		4	1		
40年		15	15	15			4		6	4		1
41年	1	13	14	13			7		2	4		1
42年	1	34	35	34			5		27	2		1
43年	1	8	9	8			4	1	2	2		
44年		9	9	9			5		2	2		
45年		26	26	26			5	2	13	4		2
46年	2	20	22	20			9		9	4		
47年		21	21	20	1		8	2	3	8		
48年		23	23	23			12		7	4		
49年		15	15	15			8		2	5		
50年		6	6	6			1		3	1		1
51年	1	5	6	4	1		3		1	1		1
52年	1	8	9	8			5	1	1	1		1
53年	1	6	7	6			5		1			1
54年	1	8	9	8			4			5		
55年		8	8	2	6		6		1	1		
56年		1	1	1					1			
57年			0									
58年			0									
59年		1	1	1					1			
60年		2	2	2					1	1		
61年		2	2	2			1					1
62年	1	1	2	1			1					1
63年	1	1	2	1			1			1		

年	取扱件数			申請状況			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申請	計	あつせん	調停	仲裁	解決	不調	取下	打切	移行	
元年			0									
2年		2	2	2					1			1
3年	1		1						1			
4年			0									
5年		1	1	1					1			
6年			0									
7年		4	4	4			2		1			1
8年	1	2	3	2			1		1	1		
9年			0									
10年		2	2	2			2					
11年		1	1	1					1			
12年			0									
13年		1	1	1					1			
14年			0									
15年		1	1	1			1					
16年		1	1	1			1					
17年		1	1	1			1					
18年		4	4	4			2		1			1
19年	1	2	3	2			2					1
20年	1	2	3	2			1		1			1
21年	1	2	3	2			1		1	1		
22年		1	1	1			1					
23年			0									
24年		2	2	2			1			1		
25年		3	3	3			1			2		
26年			0									
27年			0									
28年		1	1	1						1		
29年			0									
30年			0									
31(元)年			0									
2年			0									
3年		1	1	1						1		

2 年次別個別あっせん事件数一覧表

年	取扱件数			申出者別				終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申請	計	労働者	使用者	双方	計	解決	打切	取下	不開始	計	
14年		7	7	7			7	2	1	2		5	2
15年	2	13	15	13			13	4	5	6		15	
16年		6	6	6			6	3	2			5	1
17年	1	7	8	7			7	2	4	2		8	
18年		17	17	17			17	6	8	3		17	
19年		12	12	12			12	5	2	4		11	1
20年	1	11	12	10	1		11	4	6	1		11	1
21年	1	10	11	10			10	3	3	3	1	10	1
22年	1	4	5	4			4	3	2			5	
24年		9	9	8	1		9	4	5			9	
25年		7	7	6	1		7	1	5		1	7	
26年		7	7	6	1		7	2	4	1		7	
27年		6	6	6			6	2	3		1	6	
28年		1	1	1			1		1			1	
29年		5	5	5			5	2	3			5	
30年		2	2	2			2	2				2	
³¹ (元)年		3	3	3			3	2				2	1
2年	1	4	5	4			4	3	1			4	1
3年	1	4	5	4			4		2	1		3	2

3 年次別審査事件数一覽表

年	取扱件数			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申立	計	関与和解	無関与和解・取下	(一部)救済	棄却	却下	
22年		3	3		2				1
23年	1	2	3				1		2
24年	2	2	4	1			2	1	
25年		1	1		1				
26年		3	3	2	1				
27年		4	4	2					2
28年	2	3	5	3	2				
29年		5	5	4					1
30年	1	3	4	1	2	1			
31年		3	3	1	1	1			
32年		3	3		2				1
33年	1	5	6	3	3				
34年		5	5		5				
35年		2	2	1	1				
36年		1	1		1				
37年		1	1	1					
38年		3	3	1					2
39年	2		2		2				
40年		1	1						1
41年	1	2	3		1	2			
42年		2	2		1				1
43年	1	7	8	2	2	1	1		2
44年	2	6	8		3	1			4
45年	4	3	7	1	2	1			3
46年	3	1	4			2			2
47年	2	9	11	4	1				6
48年	6	1	7		2	2			3
49年	3	1	4	1	2	1			
50年		4	4		2				2
51年	2		2						2
52年	2	3	5	1					4
53年	4		4	1					3
54年	3		3	2					1
55年	1	1	2						2
56年	2	1	3	1					2
57年	2		2						2
58年	2		2						2
59年	2	2	4		2				2
60年	2		2	1					1
61年	1	1	2						2
62年	2	8	10		2				8
63年	8	2	10			2		1	7

年	取扱件数			終結状況					次年繰越
	前年繰越	新規申立	計	関与和解	無関与和解・取下	(一部)救済	棄却	却下	
元年	7		7		1	2	4		
2年			0						
3年			0						
4年			0						
5年			0						
6年		3	3		2				1
7年	1		1						1
8年	1		1						1
9年	1		1						1
10年	1	2	3		1				2
11年	2		2	1					1
12年	1		1			1			
13年			0						
14年			0						
15年			0						
16年			0						
17年		1	1						1
18年	1		1		1				
19年		1	1						1
20年	1		1			1			
21年		2	2				1		1
22年	1		1		1				
23年			0						
24年			0						
25年			0						
26年			0						
27年			0						
28年		1	1						1
29年	1		1	1					
30年			0						
31(元)年			0						
2年			0						
3年		1	1						1

4 歴代委員名簿

◎会長 ○会長代理

期 別	期 間	第三者（公益）委員	労働者委員	使用者委員
第 1 期	昭 21. 2. 13～昭 22. 1. 26	土 生 滋 穂 宇 野 泰 三 ○山 川 登 ◎藤 井 剛 士 酒 井 利 一	片 山 正 志 小 辻 千太郎 荒 井 弥次兵衛 荒 木 誠 斉 木 重 一	巨 椋 初 蔵 黒 川 誠三郎 久 保 義 隆 熊 谷 太三郎 佐 伯 光太郎
第 2 期	昭 22. 1. 27～昭 23. 1. 26	千 田 専 平 ◎土 生 滋 穂 (22. 5. 15 退任) 斉 藤 実 ○松 永 藤 吉 加 藤 茂 樹 勝 田 清 (22. 7. 2 就任)	熊 谷 与三吉 前 島 申 孝 大 谷 巖 谷 川 源 七 若 杉 一 志	山 田 仙之助 伊 藤 義 朗 竹 下 勘右衛門 上 坂 巖 木 俣 彰 一 加 藤 尚 (22. 6. 16 就任)
第 3 期	昭 23. 1. 27～昭 24. 4. 9	○加 藤 茂 樹 杉 原 丈 夫 ◎千 田 専 平 内 藤 哲 応 土 生 滋 穂	大 谷 巖 玉 川 安 平 中 川 祐 一 新 田 秀 雄 山 田 成 一	有 馬 義 夫 (23. 4. 13 就任) 三 谷 進 (23. 6. 27 就任) 伊 藤 義 朗 佐々木 甚兵衛 滝 波 清 辻 忠 夫 (23. 5. 21 退任) 木 俣 彰 一 (23. 3. 23 退任)
第 4 期	昭 24. 4. 10～昭 25. 4. 29	○加 藤 茂 樹 田 賀 寛 一 ◎内 藤 哲 応 佐 藤 恕 一 真 田 幸 雄	新 田 秀 雄 大和田 功 大 倉 充 中 川 祐 一 牧 野 初 幸	滝 波 清 小 西 忠 有 馬 義 夫 佐々木 甚兵衛 洩 谷 純 一
第 5 期	昭 25. 4. 30～昭 26. 5. 31	岡 田 清 治 ○真 田 幸 雄 田 賀 寛 一 ◎内 藤 哲 応 御堂河内 四 市	坪 内 才次郎 中 川 祐 一 河 野 一 馬 (26. 2. 1 就任) 吉 田 俊 勝 (26. 2. 1 就任) 万 谷 義 雄 藤 野 千 吉 (26. 1. 31 退任) 吉 村 清 高 (26. 1. 31 退任)	巨 椋 初 蔵 柿 本 一 雄 塩 田 隆太郎 滝 谷 純 一 滝 波 清
第 6 期	昭 26. 6. 1～昭 27. 6. 9	◎真 田 幸 雄 ○岡 田 清 治 飯 田 彦太郎 安 田 き み 宮 崎 茂	馬 路 勤 中 島 優 治 南 部 智 河 野 一 馬 木 部 喜三郎	巨 椋 初 蔵 柿 本 一 雄 滝 波 清 黒 川 誠 一 松 村 宇 市
第 7 期	昭 27. 6. 10～昭 28. 10. 6	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 野 上 実 品 川 一 雄	馬 堀 内 正 二 中 島 優 治 河 野 一 馬 水 野 銚 六	西 野 弘 巨 椋 初 蔵 高 橋 正 滝 波 清 福 島 文右門
第 8 期	昭 28. 10. 7～昭 29. 10. 31	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 賀 寛 一 野 上 実	戸 枝 一 男 万 谷 義 雄 中 島 優 治 内 山 実 水 野 銚 六	池 田 秀 二 西 野 弘 巨 椋 初 蔵 高 橋 正 福 島 文右門

期 別	期 間	公 益 委 員	勞 働 者 委 員	使 用 者 委 員
第 9 期	昭 29. 11. 1～昭 30. 11. 30	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 田 賀 寛 一 野 上 実	風 間 喜 一 郎 万 谷 義 雄 田 畑 政 一 郎 中 島 優 治 牧 野 初 幸	池 田 秀 二 西 野 弘 谷 他 吉 高 橋 正 福 島 文 右 工 門
第 10 期	昭 30. 12. 1～昭 31. 11. 30	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 田 賀 寛 一 野 上 実	万 谷 義 雄 椿 野 半 三 郎 中 島 優 治 野 田 義 夫 牧 野 初 幸	池 田 秀 二 西 野 弘 大 柳 隆 一 高 橋 正 福 島 文 右 工 門
第 11 期	昭 31. 12. 1～昭 32. 12. 19	◎真 田 幸 雄 ○加 藤 茂 樹 岡 田 清 治 大 月 明 川 端 才 市 (32. 3. 31 退任) 中 川 平 太 夫 (32. 4. 24 就任)	乾 繁 雄 万 谷 義 雄 椿 野 半 三 郎 中 島 優 治 牧 野 初 幸	鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 柿 本 一 雄 高 橋 正 木 津 群 平 (32. 2. 28 退任) 鈴 木 弘 (32. 4. 24 就任)
第 12 期	昭 32. 12. 20～昭 34. 1. 31	◎加 藤 茂 樹 ○岡 田 清 治 窪 田 彦 左 工 門 坂 本 豊 平 田 一 郎	乾 繁 雄 万 谷 義 雄 椿 野 半 三 郎 中 島 優 治 牧 野 初 幸	鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 柿 本 一 雄 高 橋 正 鈴 木 弘
第 13 期	昭 34. 2. 1～昭 35. 2. 28	◎加 藤 茂 樹 ○岡 田 清 治 吉 田 耕 三 窪 田 彦 左 工 門 松 宮 武 一	乾 繁 雄 万 谷 義 雄 中 島 優 治 牧 野 初 幸 佐 藤 元 美	鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 柿 本 一 雄 高 橋 正 鈴 木 弘
第 14 期	昭 35. 3. 1～昭 36. 2. 28	◎加 藤 茂 樹 ○岡 田 清 治 吉 田 耕 三 (35. 5. 31 退任) 吉 村 義 一 中 川 平 太 夫 久 末 直 二 (35. 6. 1 就任)	乾 繁 雄 中 島 優 治 久 保 末 義 佐 藤 元 美 北 村 清	五十嵐 等 鳩 沢 豊 三 大 柳 隆 一 高 橋 正 鈴 木 弘
第 15 期	昭 36. 3. 1～昭 37. 3. 28	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平 太 夫 窪 田 彦 左 工 門 有 田 三 樹 男	岩 佐 零 二 田 畑 政 一 郎 中 島 優 治 福 岡 三 太 郎 佐 藤 元 美	五十嵐 等 鳩 沢 豊 三 西 畑 緑 雲 加 藤 一 雄 (36. 7. 31 退任) 鈴 木 弘 高 橋 正 (36. 8. 1 就任)
第 16 期	昭 37. 3. 29～昭 38. 5. 19	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平 太 夫 宇 野 友 八 有 田 三 樹 男	岩 佐 零 二 中 島 優 治 福 岡 三 太 郎 小 林 喜 治 佐 藤 元 美 (38. 4. 20 退任)	五十嵐 等 高 橋 正 寺 腰 正 信 末 広 多 一 鈴 木 弘
第 17 期	昭 38. 5. 20～昭 39. 5. 31	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平 太 夫 宇 野 友 八 有 田 三 樹 男	岩 佐 零 二 二 宮 正 文 中 島 優 治 (39. 4. 1 退任) (39. 5. 20 就任) 福 岡 三 太 郎 小 林 喜 治	綿 谷 清 一 河 村 静 観 寺 腰 正 信 鈴 木 弘 末 広 多 一

期 別	期 間	公 益 委 員	勞 働 者 委 員	使 用 者 委 員
第 18 期	昭 39. 6. 1～昭 40. 10. 11	◎加 藤 茂 樹 ○久 末 直 二 中 川 平太夫 宇 野 友 八 有 田 三樹男	岩 佐 零 二 小 林 喜 治 二 宮 正 文 野 付 利 之 (40. 1. 31 退任) 福 岡 三太郎 (39. 12. 23 退任) 南 光 訓 一 (40. 3. 24 就任) 北 村 清 (40. 3. 24 就任)	河 村 静 観 勝 倉 博 嗣 鈴 木 弘 寺 腰 正 信 山 下 弥 三 次
第 19 期	昭 40. 10. 12～昭 43. 3. 17	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 宇 野 友 八 岡 崎 秀 吉 田 勇	北 村 清 南 光 訓 一 宮 下 実 山 崎 秋 雄 藤 本 武 士	鈴 木 弘 寺 腰 正 信 勝 倉 博 嗣 山 下 弥 三 藤 井 猛 雄
第 20 期	昭 43. 3. 18～昭 46. 10. 31	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 宇 野 友 八 岡 崎 秀 藤 井 弘 (44. 7. 31 退任) 藤 田 善 男 (44. 11. 25 就任)	南 光 訓 一 (44. 3. 31 退任) 藤 本 武 士 (44. 4. 15 退任) 山 下 太 一 木 曾 市 好 山 本 清 田 畑 政 一 郎 (44. 4. 21 就任) 斉 藤 富 雄 (44. 4. 21 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥 三 藤 井 猛 雄 (44. 7. 31 退任) 池 田 重 親 三 谷 政 敏 (44. 9. 4 就任)
第 21 期	昭 46. 11. 1～昭 48. 11. 8	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 藤 田 善 男 岡 本 秀 雄 内 角 誠 一	山 本 清 田 畑 政 一 郎 (47. 10. 31 退任) 横 手 文 雄 高 橋 秀 雄 河 合 八 郎 (47. 10. 31 退任) 小 鍛 治 実 (47. 11. 1 就任) 牧 野 正 (47. 11. 1 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥 三 池 田 重 親 三 谷 政 敏
第 22 期	昭 48. 11. 9～昭 50. 11. 30	◎加 藤 茂 樹 ○井 田 英 彦 藤 田 善 男 岡 本 秀 雄 石 本 理	横 手 文 雄 高 橋 秀 雄 小 鍛 治 実 牧 野 正 (49. 11. 5 退任) 河 合 八 郎 (49. 6. 24 退任) 橋 本 俊 三 (49. 7. 1 就任) (49. 11. 5 退任) 岩 佐 零 二 (49. 11. 11 就任) 小 林 優 (49. 11. 11 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥 三 池 田 重 親 三 谷 政 敏

期 別	期 間	公 益 委 員	勞 働 者 委 員	使 用 者 委 員
第 23 期	昭 50. 12. 1～昭 52. 12. 31	◎加 藤 茂 樹 ○橋 本 大 三 石 本 理 一 瀬 繁 治 永 谷 良 夫	高 橋 秀 雄 岩 佐 零 二 小 林 優 川 瀬 馨 (51. 11. 30 退任) 橋 本 俊 三 石 田 等 (51. 12. 1 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 池 田 重 親 三 谷 政 敏
第 24 期	昭 53. 1. 1～昭 55. 1. 31	◎加 藤 茂 樹 ○橋 本 大 三 石 本 理 一 瀬 繁 治 永 谷 良 夫 (54. 7. 28 退任)	小 林 優 橋 本 俊 三 石 田 等 横 手 文 雄 (54. 9. 14 退任) 田 部 雅 敏 (53. 12. 31 退任) 岩 佐 零 二 (54. 1. 1 就任)	鈴 木 弘 勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 池 田 重 親 三 谷 政 敏
第 25 期	昭 55. 2. 1～昭 57. 4. 8	◎橋 本 大 三 ○石 本 理 上 野 繁 三 (55. 9. 30 退任) 石 黒 内 匠 谷 内 文 雄 高 岸 卓 夫 (55. 12. 1 就任)	小 林 優 橋 本 俊 三 石 田 等 神 谷 正 保 田 部 雅 敏 (56. 1. 31 退任) 大 柳 登 (56. 2. 1 就任)	勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 池 田 重 親 三 谷 政 敏 山 本 守 男
第 26 期	昭 57. 4. 9～昭 59. 4. 11	◎石 本 理 ○木 村 甚左衛門 石 黒 内 匠 谷 内 文 雄 高 岸 卓 夫	小 林 優 (58. 6. 2 退任) 橋 本 俊 三 石 田 等 神 谷 正 保 (58. 3. 31 退任) 大 柳 登 (58. 4. 1 就任) 伊 藤 実 (58. 8. 10 就任) (59. 4. 11 退任) 畠 中 孝	勝 倉 博 嗣 山 下 弥三次 (58. 3. 25 退任) 三 谷 政 敏 山 本 守 男 酒 井 一 之 (58. 8. 31 退任) 富 永 幸 司 (58. 7. 25 就任) 竹 沢 秀 勝 (58. 9. 10 就任)
第 27 期	昭 59. 4. 12～昭 61. 5. 8	◎石 本 理 ○木 村 甚左衛門 石 黒 内 匠 谷 内 文 雄 高 岸 卓 夫	橋 本 俊 三 石 田 等 畠 中 孝 (60. 4. 11 退任) 大 柳 登 神 谷 正 保 (59. 10. 31 退任) 岸 昭 夫 (59. 11. 1 就任) 伊 藤 実 (60. 4. 12 就任)	勝 倉 博 嗣 三 谷 政 敏 山 本 守 男 富 永 幸 司 竹 沢 秀 勝
第 28 期	昭 61. 5. 9～昭 63. 5. 8	◎石 本 理 ○木 村 甚左衛門 石 黒 内 匠 谷 内 文 雄 高 岸 卓 夫	橋 本 俊 三 石 田 等 大 柳 登 岸 昭 夫 秋 田 征 雄 (62. 6. 15 退任) 龍 田 清 成 (62. 6. 16 就任)	勝 倉 博 嗣 三 谷 政 敏 富 永 幸 司 竹 沢 秀 勝 斎 藤 慶 四 郎

期 別	期 間	公 益 委 員	勞 働 者 委 員	使 用 者 委 員
第29期	昭63. 5. 9～平2. 5. 8	◎石 本 理 ○石 黒 内 匠 谷 内 文 雄 藤 澤 清 小酒井 彬 恵	橋 本 俊 三 小 林 優 大 柳 登 龍 田 清 成 佐々木 哲 男	勝 倉 博 嗣 三 谷 政 敏 富 永 幸 司 竹 沢 秀 勝 斎 藤 慶 四郎
第30期	平2. 5. 9～平4. 5.10	◎石 本 理 ○藤 澤 清 谷 内 文 雄 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫	大 柳 登 龍 田 清 成 佐々木 哲 男 (3. 3.26 退任) 中 野 信 夫 牧 野 憲 司 (2.10.30 退任) 森 田 則 夫 (2.12.10 就任) 浅 山 卓 司 (3. 5.10 就任)	勝 倉 博 嗣 富 永 幸 司 斎 藤 慶 四郎 金 子 悌 三郎 笹 原 誠
第31期	平4. 5.11～平6. 5.11	◎石 本 理 ○藤 澤 清 谷 内 文 雄 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫	龍 田 清 成 (4. 7. 7 退任) (4. 8.20 就任) 中 野 信 夫 (5. 8.19 退任) 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 石 山 勇 夫 (5.10.12 就任)	勝 倉 博 嗣 富 永 幸 司 斎 藤 慶 四郎 金 子 悌 三郎 笹 原 誠
第32期	平6. 5.12～平8. 5.12	◎石 本 理 ○藤 澤 清 谷 内 文 雄 (8. 3.31 退任) 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫	龍 田 清 成 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 石 山 勇 夫	富 永 幸 司 斎 藤 慶 四郎 金 子 悌 三郎 浦 瀬 信 隆 笹 原 誠
第33期	平8. 5.13～平10. 5.12	◎石 本 理 ○藤 澤 清 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫 野 村 直 之	龍 田 清 成 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 石 山 勇 夫 (9. 6.30 退任) 山 岸 克 司 (9. 9. 2 就任)	富 永 幸 司 斎 藤 慶 四郎 金 子 悌 三郎 浦 瀬 信 隆 笹 原 誠 (9. 9.30 退任) 高 佐 和 弘 (9.10. 7 就任)
第34期	平10. 5. 13～平12. 5.16	◎石 本 理 ○藤 澤 清 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫 野 村 直 之	龍 田 清 成 森 田 則 夫 中 田 定 男 安 念 諫 山 岸 克 司	富 永 幸 司 斎 藤 慶 四郎 金 子 悌 三郎 浦 瀬 信 隆 高 佐 和 弘
第35期	平12. 5.17～平14. 5.19	◎石 本 理 ○藤 澤 清 小酒井 彬 恵 伊 藤 武 夫 野 村 直 之	森 田 則 夫 安 念 諫 (13.10.31 退任) 山 岸 克 司 荒 谷 一 井 福 田 正 人 吉 田 哲 夫 (13.12.19 就任)	富 永 幸 司 浦 瀬 信 隆 高 佐 和 弘 米 澤 賢 治 間 渕 惟 夫

期 別	期 間	公 益 委 員	勞 働 者 委 員	使 用 者 委 員
第 36 期	平 14. 5. 20～平 16. 5. 25	◎野 村 直 之 ○小酒井 彬 恵 (14. 9. 20 退任) ○竹 内 規 浩 (会長代理 14. 10. 22 就任) 北 川 恭 子 円 居 愛 一 郎 高 田 洋 子 (14. 12. 17 就任)	森 田 則 夫 (15. 10. 31 退任) 山 岸 克 司 (15. 10. 31 退任) 荒 谷 一 井 (15. 10. 31 退任) 福 田 正 人 吉 田 哲 夫 坪 内 佳 久 (15. 12. 12 就任) 馬 場 修 一 (15. 12. 12 就任) 中 村 俊 哉 (15. 12. 12 就任)	浦 瀬 信 隆 高 佐 和 弘 米 澤 賢 治 間 渕 惟 夫 (15. 6. 30 退任) 清 川 忠 本 多 惠 公 (15. 8. 21 就任)
第 37 期	平 16. 5. 26～平 18. 5. 25	◎野 村 直 之 ○竹 内 規 浩 北 川 恭 子 円 居 愛 一 郎 高 田 洋 子	福 田 正 人 吉 田 哲 夫 坪 内 佳 久 馬 場 修 一 (16. 10. 31 退任) 中 村 俊 哉 松 本 昌 三 (17. 1. 13 就任)	高 佐 和 弘 (16. 6. 16 退任) 米 澤 賢 治 清 川 忠 本 多 惠 公 梶 本 知 暉 鈴 木 健 蔵 (16. 7. 1 就任)
第 38 期	平 18. 5. 26～平 20. 5. 25	◎野 村 直 之 ○円 居 愛 一 郎 高 田 洋 子 湯 川 勢 津 子 中 山 義 壽	福 田 正 人 (18. 8. 31 退任) 吉 田 哲 夫 坪 内 佳 久 (19. 10. 31 退任) 中 村 俊 哉 (19. 10. 31 退任) 松 本 昌 三 (18. 10. 31 退任) 朝 倉 明 哉 (18. 11. 1 就任) 宮 崎 伸 介 (18. 12. 26 就任) 山 岸 克 司 (19. 12. 25 就任) 田 中 一 (19. 12. 25 就任)	米 澤 賢 治 清 川 忠 本 多 惠 公 梶 本 知 暉 鈴 木 健 蔵 (19. 5. 31 退任) 坪 田 雅 一 (19. 8. 9 就任)
第 39 期	平 20. 5. 26～平 22. 5. 25	◎中 山 義 壽 ○高 田 洋 子 円 居 愛 一 郎 湯 川 勢 津 子 山 川 均	吉 田 哲 夫 山 岸 克 司 宮 崎 伸 介 朝 倉 明 哉 (20. 8. 31 退任) 田 中 一 牧 野 恭 英 (20. 11. 4 就任)	米 澤 賢 治 清 川 忠 本 多 惠 公 坪 田 雅 一 黒 田 一 郎
第 40 期	平 22. 5. 26～平 24. 5. 25	◎中 山 義 壽 ○山 川 均 円 居 愛 一 郎 湯 川 勢 津 子 交 野 好 子	山 岸 克 司 宮 崎 伸 介 (22. 9. 30 退任) 田 中 一 牧 野 恭 英 吉 田 啓 三 山 崎 高 明 (23. 1. 21 就任)	清 川 忠 本 多 惠 公 坪 田 雅 一 (23. 6. 15 退任) 黒 田 一 郎 田 村 毅 村 上 俊 男 (23. 8. 10 就任)

期 別	期 間	公 益 委 員	労働者委員	使用者委員
第41期	平24. 5.26～平26. 5.25	◎山川 均 ○交野 好子 湯川 勢津子 渡邊 一成 井上 毅	山岸 克司 田中 一 (24.12.31 退任) 牧野 恭英 吉田 啓三 山崎 高明 矢野 義和 (25. 2.26 就任)	清川 忠 本多 惠公 黒田 一郎 田村 毅 村上 俊男 (25. 9.30 退任) 峠岡 伸行 (25.11.18 就任)
第42期	平26. 5.26～平28. 5.25	◎山川 均 ○井上 毅 湯川 勢津子 渡邊 一成 加藤 まどか	山岸 克司 山崎 高明 矢野 義和 横山 龍寛 峯森 大輔	清川 忠 黒田 一郎 田村 毅 峠岡 伸行 勝木 知文
第43期	平28. 5.26～平30. 5.25	◎山川 均 ○井上 毅 渡邊 一成 加藤 まどか 稲田 真紀	山岸 克司 (29.10.26 退任) 山崎 高明 (28.10.16 退任) 矢野 義和 峯森 大輔 (29. 6.30 退任) 谷澤 澄枝 谷野 慎一 (28.12.20 就任) 寺島 誠二 (29. 9. 1 就任) 林 憲治 (29.10.27 就任)	清川 忠 田村 毅 峠岡 伸行 勝木 知文 坂川 嘉治
第44期	平30. 5.26～令2. 5.25	◎山川 均 ○井上 毅 渡邊 一成 加藤 まどか 稲田 真紀	矢野 義和 谷澤 澄枝 谷野 慎一 (1.8.31 退任) 寺島 誠二 林 憲治 竹原 康裕 (1.9.1 就任)	田村 毅 峠岡 伸行 勝木 知文 坂川 嘉治 清水 則明
第45期	令2. 5.26～令4. 5.25	◎井上 毅 ○川村 一司 稲田 真紀 清水 泰幸 小池 麻里子	矢野 義和 谷澤 澄枝 (3.10.26 退任) 寺島 誠二 林 憲治 竹原 康裕 (2.9.28 退任) 橋岡 克典 (2.9.29 就任) 米谷 寿光 (3.10.27 就任)	田村 毅 峠岡 伸行 (3.3.31 退任) 坂川 嘉治 清水 則明 中村 直樹 山 埜 浩嗣 (3.5.20 就任)

福井県労働委員会年報（令和3年版）

令和4年2月28日 発行

編集・発行
福井県労働委員会事務局

福井県大手3丁目17番1号

TEL (0776) 20-0597

URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/roudouinkaijimukyoku/>



福井県労働委員会
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL 0776-20-0597